

＝行基菩薩・・伊丹の足跡＝

文責：林 亨

【行基ゆかりの寺院・神社・温泉・他】

- ・**崑崙山 昆陽寺（伊丹市寺本）**：伊丹七福神 僧行基創立の畿内49院の1つとして天平3年（731年）創立された。天正7年（1579）信長の兵火にあって全焼し昔の建物は残っていない。
- ・**崑崙山 一乗院（伊丹市寺本）**：僧行基の開祖と伝えられ昆陽寺塔頭の一つで、昔一乗坊と称したが、後に昇格して院となった。
- ・**崑崙山 遍照院（伊丹市寺本）**：昆陽寺塔頭の一つで昆陽寺に隣接している。
- ・**崑崙山 成就時（伊丹市寺本）**：もと昆陽寺塔頭寺院の一つで、行基が多数の寺院建立の終わりに大願成就を記念して建てられたと伝えられる。
- ・**崑崙山 正覚院（伊丹市寺本）**：伊丹七福神 天平年間（729～749）僧行基の開祖と伝えられる。
- ・**法巖寺（伊丹市中央）**：行基の開基で、迎接山昆陽院と号す。
- ・**大空寺（伊丹市野間）**：聖武天皇の御代（724～749）、行基によって創建されたと伝えられる。伊丹七福神 摂津国八十八カ所第六十三番霊場
- ・**安楽院（伊丹市千僧）**：伊丹七福神 人皇43代元明天皇の御宇、和銅六年の創建
- ・**妙宣寺（伊丹市大鹿）**：詳細不明
- ・**了福寺（伊丹市南野4丁目）**：天平時代に行基が昆陽池その他を造るために道場として建てたと伝えられる。
- ・**昆陽本陣跡**：大永2年（1522）までは昆陽院と言う寺があった。現在は跡形もない。”昆陽院”は行基の”昆陽施院”に通じる？
- ・**東天神社**：天平年間、行基が昆陽大池その他猪名野笹原を開墾されたとき、その事業達成を祈願された由緒ある神社。
- ・**富松神社**：天平時代、聖武天皇勅願により、僧行基猪名野笹原を開耕し、広大な地域を開き、七堂伽藍23ヶ坊の堂を造営し、各所に集落を作り、庶民の福祉に意を尽くし、農耕を指導し、民政を安定させた。御祭神・素戔鳴尊

【行基ゆかりの場所】

- ・**昆陽池**：天平5年（733）僧行基が猪名野笹原150町歩の開墾を終え、灌漑池の5つの内の1つ。行基が昆陽池を通りかかった薬師如来の変身した旅人に魚を食べさせ、食べ残しを池に放ったところ、一切れずつが一匹の魚になったと言う「片目のフナ」の伝説がある。
- ・**天神川、天王寺川**：昆陽上溝、昆陽下溝に相当する。行基が構築するまでは暴れ川であったが、今では人工的に堤が作られ天井川となっている。
- ・**三田市民話**：川除（かわよけ）地名の由来。村が洪水に悩まされていると聞いた行基は「松山のゆ」を作って用水路を引いたり、川を遠ざけて洪水から村を守った。
- ・**尼崎市武庫（尼崎市・ソラマメの来歴）**：我が国への渡来は、聖武天皇の天平年間で、インドの僧侶の菩提仙那が中国経由で渡来し、摂津難波津に出迎えた行基上人に「王墳豆」の種子一袋を手渡し、武庫（尼崎市）の岡治氏がこれを試作したことに始まったとされる。

- ・ 関伽井（あかい）：正覚院の南側の公園に行基が掘ったという井戸跡があります。昔は靈験新たな水であったと記録に残っています。特に「疱瘡（ほうそう）」に効くと言われていました。
- ・ その他：妙見山、芦屋廃寺、室津、日光寺跡（大野山頂）、魚住の泊

		
崑崙山 昆陽寺	崑崙山 一乗院	崑崙山 遍照院
		
崑崙山 成就寺	崑崙山 正覚院	法巖寺
		
大空寺	安楽院	妙宣寺
		
了福寺	東天神社	富松神社
		
昆陽池	天王寺川	関伽井